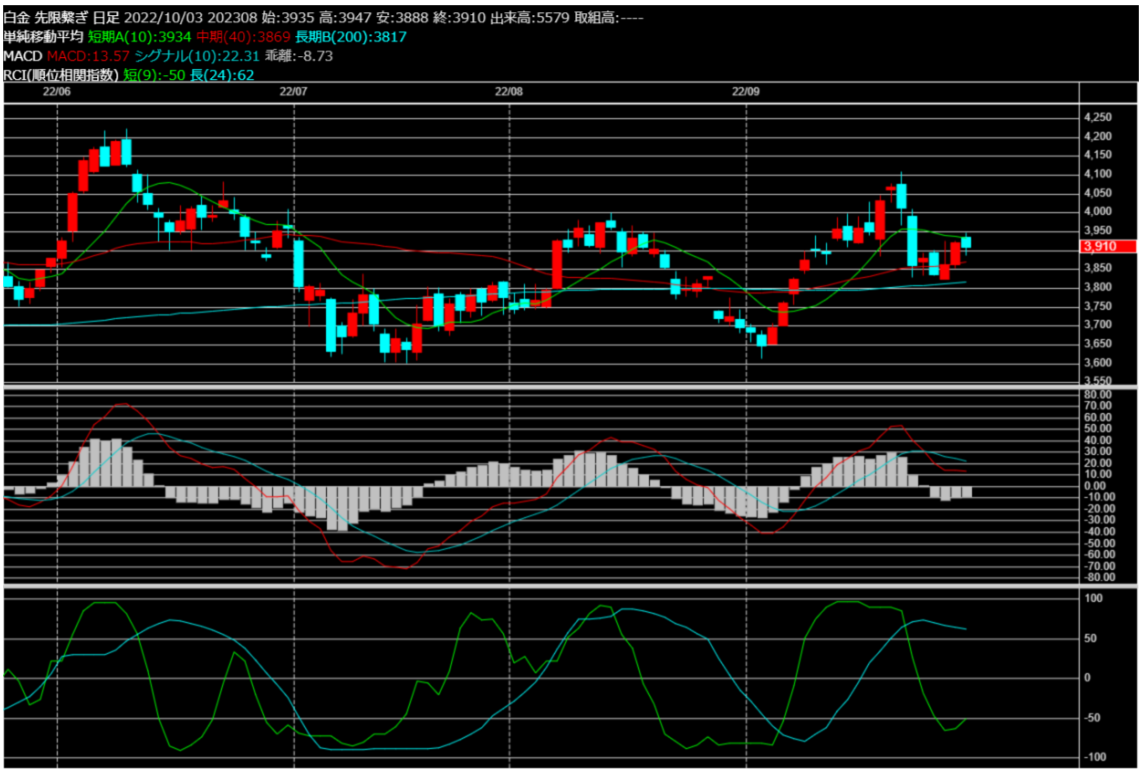
2022/10/3

＜白金標準先物、欧州経済に与えるロシア・リスクで足踏み・・＞



（出所：オアシス）

財務省の 2 兆円を超える円買い介入や英国政府の大型経済対策と 1972 年以来の大型減税処置を受けて白金標準先物は一時 3825 円まで下値を試している。ただイングランド銀行の英国債の無制限購入の発表を受けた巻き戻しを受けて、3947 円まで戻りを見せている。

ただ欧州経済に与えるロシア・リスクは、ノルドストリーム 1 の破壊工作やオーストリア経由のイタリアへの天然ガス供給が停止するなど、ロシアは欧州に対する揺さぶりを掛けている。またプーチン大統領のウクライナ 4 州のロシア併合の宣言は、戦術核の使用ハードルを下げた事を意味しており、欧州における核の脅威が高まりを見せている。

その事は欧州経済に後押しされた白金需要の懸念を高める事に結び付くだけに 4000 円を超えるハードルが高くなった可能性が高い。

しかし南アフリカでは、シバニースチールウォーターと鉱山労働組合の賃金協議で、NUM と UASA が 5 年契約で合意しているが、AMCU は提案を拒否し紛争を宣言するなど仲裁委員会（CCMA）へ付託しており、協議決裂のストライキの懸念は存在しており、3800 円を下回る確率は低いと思える。

＜テクニカル＞

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では MACD が切り下げながら、シグナルも下げている。RCI でも短期が下げ渋り、長期は切り下げるなど弱気を示唆する動きを示している。また 10 日移動平均線が下げるなど日足の戻りを抑えており、40 日移動平均線の 3869 円を試す値動きには注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

〇商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,695,000 円（2022 年 10 月 3 日現在）です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。 〇商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。 〇商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 36,080 円（2022 年 10 月 3 日現在）です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社（商品先物取引業者）の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当（東京）電話 03-3249-8827 （受付時間：平日 8:30～17:30）

証券・金融商品あっせん相談センター https://www.finmac.or.jp 日本商品先物取引協会相談センター https://www.nisshokyo.or.jp